

明治大学 2019 年度【夏期】 国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修先名	イギリス/シェフィールド大学
所 属	国際日本学部 国際日本学科 2 年

留学先での学習(実習)内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300 字程度)

授業では、四技能向上を達成できるように、スピーキングやリスニングはもちろん、リーディングやライティングなどもバランスよく取り入れていました。私のクラスでは、特にスピーキングに力を入れており、授業は基本的にグループディスカッションを交えながら進み、週に何度かはグループ発表や個人のプレゼンテーションが行われました。最初はスピーキングに自信がなかったため、なかなか意見が言えなかったが、先生のサポートやグループメンバーとの交流で、徐々に発言できるようになりました。特にグループ発表では、本番だけでなく、準備の間もみんなで協力しながら積極的に英語で話し、着実にスピーキング力を向上することができました。

課外活動等、授業以外の時間にどのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300 字程度)

私は、学校側が主催している週末の日帰り旅行を主に利用しました。毎週土曜日にチェスターやヨークなど、シェフィールドから少し離れた都市への日帰りの遠足のようなものが企画されており、シェフィールド以外の様々な街を楽しむことができました。また、こうしたイベントがない日曜日や祝日は、友人たちと相談し、自分たちで計画を立てて遊びに行きました。行き方を調べたり電車のチケットを予約したり、問題が起こっても自分たちで対処したりと、行動力がかなり身についたと思います。また、すべてが自己責任だったので、自分の行動を考え責任を持ついい経験になりました。

滞在先・現地での生活に関する経験・感想について記載してください。(250~300 字程度)

ホームステイ先のホストマザーは大変親切で、慣れない海外生活に不安だった私を親身になってサポートしていただきました。食事や会話など日々のコミュニケーションはもちろん、放課後映画に連れて行ってくれたり、ホストマザーの友人を交えての夕食会を開いたりなど、たくさんの貴重な経験をさせていただきました。ホストマザーだけでなく、現地の方々も皆親しみやすく、歩いていると挨拶をしてくれたり、道に迷うとすぐに声をかけて教えてくれました。現地での生活ではどのくらいの費用が必要かわからなかったため、助成金はとても役立ちました。交通費や食費が思っていたよりも高かったため、助成金を受けておいて良かったと思いました。

今後の展望・目標について、留学前と後での変化も含め記載してください。(250~300 字程度)

この語学研修に参加して、様々な貴重なことを経験することができました。特にホームステイをし、実際に異文化を体験したことで、自分の視野を広げ、また、新たな視点を見つけることができました。また、留学前の目標にしていた英語力向上も、積極的に授業に参加したり人とかかわったりすることで、多少は向上することができたのではないかと感じます。今後は、英語力のさらなる向上を目指し、現地での授業を参考にしながら発話を中心に勉強していこうと思います。また、滞在中に培った経験を日々の生活の中で活かせるようにしたいと思います。

写真貼付 (1 枚)

※研修先で撮影した写真を 1 枚 (1MB 以内) ご提供ください。撮影場所・写真の説明も記載してください。



シェフィールド大聖堂

街のシンボリックな建物で、通学路にあるので放課後などによく立ち寄っていました。

【注意事項】提出された留学報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします (学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません)。

【写真提供の注意事項】※ご提供いただいた写真は、大学の広報誌やウェブサイト、募集説明会の際利用するパワーポイント等、様々な媒体で広く広報に活用させていただく可能性があります。複数の方が写っている写真をご提供いただく場合には、写真撮影の際にその写真に写る方に本学への写真提供について許可を得ていただいたものをご提供ください。